

スギの赤枯病防除に関する研究（第VI報）

粉剤の施用量ならびに施用回数について

野 原 勇 太⁽¹⁾
陳 野 好 之⁽²⁾

I 緒 言

本報では、昭和 30 年度以降 32 年度までの 3 カ年にわたって行つた浅川および元八王子苗畑と 31 年度に施行した栃木県菅瑞穂苗畑で実施したスギ赤枯病防除に対する粉剤の施用量および施用回数に関する試験結果をとりまとめたものである。

本報における調査法ならびに被害程度の標示基準は、前報と同じである。

この研究を行うに当つて終始懇篤なる御指導を賜つた今関保護部長に、また本試験の調査に当初尽力された技官峰尾一彦氏に深謝の意を表する。

II 試験苗畑の概況および供試苗木

本防除試験を行つたそれぞれの苗畑の概況は、従来からの試験苗畑で引きつづき実施してきたもので、このことについては第III報に記したからここでは省略する。

供試苗木は、大部分スギ 1 回床替苗木で、その数約 23,000 本、2 回床替苗木約 9,000 本を使用した。

III 試験成績

A. 粉剤の施用量別効力比較試験

1. 目 的

第III報で、各種粉剤の効力比較試験の結果を報告したが、本報ではこれらの成績を基として供試薬剤中比較的優秀と認められた粉剤、ここでは、黄色亜酸化銅粉剤を便宜供試薬剤として用い、本剤についての施用量別効力比較試験を行い、これが施用の適量を究明するため、本試験を行つた。

2. 試験方法

本試験は、昭和 30 年度は浅川苗畑でスギ 1 回床替苗木につき、また 31 年度は浅川および元八王子苗畑で、前者は 2 回床替、後者は 1 回床替苗木を用い、2 カ年も浅川苗畑ではラテン方格法により、元八王子苗畑は狭隘のため本法にはよらないが、本試験の目的に添うよう考慮した畦植として実施したものである。

薬剤の施用量は全試験とも $1,000 \text{ m}^2$ 当り、 $6.0 \text{ kg} \cdot 4.5 \text{ kg} \cdot 3.0 \text{ kg}$ の 3 区として、無散布区をあわせ年間 9 回動力散粉機を用いて薬剤を散布し、試験を行つた。

年により、また苗畑によつて多少苗木の苗間などに差があるが、これらについての詳細は試験成績表の

(1) 秋田支場釜淵分場長 (2) 保護部樹病科樹病研究室員

備考欄に記すこととした。

3. 成 績

Table 1. 粉剤の施用量別効力比較試験 (昭和 30 年度, 浅川苗畑スギ 1 年生苗木供用)
Effect of yellow copper oxide (7%) at various dosages in 1955 on 1-year-old
Japanese cedar at Asakawa Nursery

番号 Plot No.	施用量 Dosage	供試植付 本 数 Number of seedlings at the initial	調査時の 本 数 Number of the plants at the end	健全本数 Number of the healthy plants	赤 枯 病 被 害 度 別 本 数 Number of diseased seedlings						赤枯病被害 程度指数 Index number of the disease
					微害	軽害	中害	重害	最重害	計	
					Slight	Light	Mi- ddle	Se- rious	Most se- rious	Total	
1	kg/0.1 ha 6.0	1,836	1,774	905	837	31	1	0	0	869	0.5
2	4.5	〃	1,784	759	957	67	1	0	0	1,025	0.6
3	3.0	〃	1,781	653	1,084	41	3	0	0	1,128	0.7
4	無散布 Control	〃	1,751	30	575	864	273	9	0	1,721	1.8

供試粉剤：黄色亜酸化銅粉剤

薬剤散布：13/V 2/VI 17/VI 4/VII 20/VII 4/VIII 24/VIII 14/IX 12/X 計 9 回

Date of dusting

試験方法：ラテン方格法による (4 回繰返し)

Experiment method: Latin Square Method (4 times)

面 積：1 Plot 20 m² (4×5 m) 各 Plot 間歩道 2 m 総面積 616 m²

Experiment area

Total area

床替方法：列間 30 cm 苗間 15 cm 東西の条植

Condition of planting 1 seedling in 15×30 cm

調査 昭. 30. 10

Table 1 は, 昭和 30 年度浅川苗畑で行った成績であるが, これによると, 顕著な差とはいわれませんが, 薬剤の施用量 6.0 kg 区はその被害程度指数 0.5 を示し, 4.5 kg 区は 0.6, 3.0 kg 区にあつては 0.7 となり, 薬剤を多く用いたほどしだいに被害が軽減していることが明らかである。

Table 2 は, 昭和 31 年度の元八王子苗畑の成績で, ここでは参考までに 6 斗式ボルドー液区を対照に加えて試験したが, 粉剤はボルドー液区ほどの効果を示してはいないが, 6.0 kg 区の指数 1.3, 4.5 kg および 3.0 kg 区ではともに 1.6, 無散布区は最も多く発病し, その指数 3.7 となり, 昭和 30 年度の浅川苗畑の結果よりは全般的に発病が多く認められている。このことは試験年次も異なることながら, 当苗畑が毎年発病の多い箇所でのこのような被害度の差異を示したものと思われる。

次に Table 3 は, 昭和 31 年度に浅川苗畑でスギ 2 回床替苗木を用いて行つたもので, この成績では全般的に発病をみ, 施用量間ではほとんど差が認められていない。

Table 4 は, 昭和 32 年度に元八王子苗畑で行つた成績で, ここでは新たに 1,000 m² 当り 1.5 kg 区を追加し, さらにボルドー液 6 斗式も対照に用いて実施したのであるが, これによると, 6.0 kg および 4.5 kg 区は最も有効な成績を示し, その指数わずかに 0.2, 次が 3.0 kg 区の 0.5 で, 1.5 kg 区は最も発病をみ 0.9, 無散布区は 1.9 となつた。薬剤の施用量を増すにしたがつて薬効を発揮し, ボルドー液区と同様の効果が認められた。

Table 5 は, 昭和 31 年度栃木県庁の林務課の協力により同県営瑞穂苗畑で施行した粉剤の施用量別効力比較試験である。

Table 2. 粉剤の施用量別効力比較試験 (昭和31年度元八王子苗畑, スギ1年生苗木供用)
Effect of yellow copper oxide (7%) at various dosages in 1956 on 1-year-old
Japanese cedar at Motohachiôji Nursery

番号 Plot No.	種 類 Fungicide	施 用 量 Dosage	供試植付本数 No. of seedlings at the initial	調査時の本数 No. of the plants at the end	健 全 本 数 No. of the healthy plants	赤 枯 病 被 害 度 別 本 数 Number of the diseased seedlings						赤枯病被害 程度指数 Index number of the disease
						微害 Slight	軽害 Light	中害 Middle	重害 Serious	最重害 Most serious	計 Total	
1	粉 剤 Dusting fungicide	6.0	561	526	2	389	120	14	1	0	524	1.3
2	“ do.	4.5	561	536	0	257	253	33	2	1	536	1.6
3	“ do.	3.0	561	518	0	285	186	14	17	16	518	1.6
4	6斗式ボルドー液 Bordeaux mix. (1:1:30)	—	561	549	125	422	2	0	0	0	424	0.8
5	無 散 布 Control	—	561	545	0	1	23	210	196	115	545	3.7

使用粉剤 黄色亜酸化銅粉剤

薬剤散布 Date of dusting and spraying.

粉剤: Yellow copper oxide 11/V 1/VI 16/VI 2/VII 20/VII 2/VIII 20/VIII 14/IX 6/X 計9回
ボルドー液: Bordeaux mix. 11/V 1/VI 16/VI 2/VII 20/VII 2/VIII 20/VIII 18/IX 16/X 計9回
面積各区とも 20 m² (2 m×10 m) 各区間歩道 2 m
床替列苗間とも 20 cm

調査 昭. 31. 10

Table 3. 粉剤の施用量による効力比較試験 (昭和31年度, 浅川苗畑スギ2年生苗木供用)
Effect of yellow copper oxide (7%) at various dosages in 1956 on 2-year-old
Japanese cedar at Asakawa Nursery

番号 Plot No.	施 用 量 Dosage	供試植付本数 No. of the seedlings at the initial	調査時の本数 No. of the plants at the end	健 全 本 数 No. of the healthy plants	赤 枯 病 被 害 度 別 本 数 No. of diseased seedlings						赤枯病被害 程度指数 Index number of the disease
					微 害 Slight	軽 害 Light	中 害 Middle	重 害 Serious	最重害 Most serious	計 Total	
1	6.0	1,176	1,168	0	385	763	19	1	0	1,168	1.7
2	4.5	1,176	1,174	0	284	869	19	0	2	1,174	1.8
3	3.0	1,176	1,170	0	228	907	33	0	2	1,170	1.8
4	6斗式ボルドー Bordeaux mix. (1:1:30)	308	305	15	180	110	0	0	0	290	1.4
5	無 散 布 Control	1,176	1,165	0	31	810	306	3	15	1,165	2.0

使用粉剤 黄色亜酸化銅粉剤

薬剤散布 Date of dusting and spraying

粉剤: Yellow copper oxide 12/V 4/VI 19/VI 5/VII 23/VII 6/VIII 23/VIII 14/IX 8/X 計9回
ボルドー液: Bordeaux mix. 15/V 4/VI 19/VI 9/VII 24/VII 7/VIII 24/VIII 19/IX 8/X 計9回
試験方法 ボルドー液区を除いた4区については, ラテン方格法によつた。(4回繰返し)

1 Plot 20 m² Plot 間歩道 2 m
列 間 30 cm 苗間 20 cm

調査 昭. 31. 10

Table 4. 粉剤の施用量別効力比較試験 (昭和 32 年度元八王子苗畑スギ 1 年生苗木供用)
Effect of yellow copper oxide at various dosages in 1956 on 1-year-old
Japanese cedar at Motohachiōji Nursery

番号 Plot No.	種 類 Fungicide	施 用 量 Dosage	供試植付本数 Number of the seedlings at the initial	調査時の本数 No. of the plants at the end	健全本数 No. of the healthy plants	被害度別本数調査 No. of the diseased seedlings						赤枯病 被害程度 指数 Index number of the disease
						微 害 Slight	軽 害 Light	中 害 Middle	重 害 Serious	最重害 Most serious	計 Total	
1	粉 剤 Yellow copper oxide	kg/0.1 ha 6.0	737	716	574	138	4	0	0	0	142	0.2
2	〃 do.	4.5	737	716	547	167	2	0	0	0	169	0.2
3	〃 do.	3.0	737	700	383	286	30	1	0	0	317	0.5
4	〃 do.	1.5	737	671	263	300	106	2	0	0	408	0.9
5	ボルドー液 Bordeaux mix. (1:1:30)	6 斗式	737	728	600	127	1	0	0	0	128	0.2
6	無 散 布 Control	—	737	676	0	161	409	99	7	0	676	1.9

供試粉剤 黄色亜酸化銅粉剤

薬剤散布 Date of dusting 15/V 6/VI 21/VI 4/VII 19/VII 3/VIII 23/VIII 13/IX 11/X 計9回
面 積 東西 10 m, 南北 2 m, 条植, 苗間 15 cm, 畦間 20 cm, 各区間歩道 2 m

調査 昭. 32. 10

Table 5. 粉剤の施用量別効力比較試験 (昭和 31 年度, 瑞穂苗畑, スギ 2 年生苗木供用)
Effect of yellow copper oxide (7%) at various dosages in 1956 on 2-year-old
Japanese cedar at Mizuho Nursery

番号 Plot No.	施 用 量 Dosage	供試植付本数 Number of the seedlings at the initial	調査時の本数 No. of the plants at the end	健全本数 No. of the healthy plants	赤枯病被害度別本数 Number of the diseased seedlings						赤枯病被害 程度指数 Index number of the disease
					微 害 Slight	軽 害 Light	中 害 Middle	重 害 Serious	最重害 Most serious	計 Total	
1	4.5 kg/0.1 ha	1,407	1,182	0	1,012	164	6	0	0	1,182	1.2
2	3.0	1,407	1,135	5	980	142	7	1	0	1,130	1.1
3	1.5	1,407	1,124	15	303	744	52	6	4	1,109	1.8
4	標 準 Control	208	186	0	0	51	86	46	3	186	3.0

供試粉剤 黄色亜酸化銅粉剤

薬剤散布 Date of dusting 10/V 25/V 5/VI 15/VI 25/VI 7/VII 15/VII 25/VII 10/VIII 25/VIII 10/IX
25/IX 10/X 25/X

面 積 4号区を除き各区とも 50 m², 歩道 2 m

調査 昭. 31. 10

当苗畑における試験も, 浅川苗畑と同様最大施用量を 4.5 kg とし, 以下 3.0, 1.5 kg 区, これに標準区をあわせ 4 組として行つた。

本成績では, 4.5 kg および 3.0 kg 区では被害指数 1.2, 1.1 でほぼ同様であるが, 1.5 kg 区は 1.8,

無散布区は 3.0 となり、施用量間では 1.5 kg 施用区に被害が比較的多く認められたが、3.0, 4.5 kg 区になるとかなり軽減するようである。

B. 粉剤の散布回数別効力比較試験

1. 目的

粉剤は液剤にくらべて施用はすこぶる簡易で、薬剤費は多少嵩むが概して消毒費は軽減できることから、今後の林業苗畑でも広く用いられる見とおしのもとに、粉剤の散布回数をどの程度に実施すればよいかを究明するために、本試験を行った。

2. 試験方法

本試験は昭和 30 年度には浅川苗畑で、スギ 1 回床替苗木を用い、散布回数を年間 7, 8, 9 回、これに無散布区をあわせてラテン方格法により、4 ブロック、16 プロット、1 プロット 16 m² について、黄色亜酸化銅粉剤を 1 回の散布量 1,000 m² 当り 4.5 kg として試験を行った。31 年度は引きつづき同苗畑にてスギ 2 回床替苗木を用い、前年同様実施し、さらに同年元八王子苗畑では、本法にはよらないが、同様の散布回数別の試験を行った。

3. 成績

Table 6 によれば、9 回、8 回ともに被害指数 0.6 を示し、最も散布回数の少ない 7 回区では指数

Table 6. 粉剤の散布回数別効力比較試験 (昭和 30 年度, 浅川苗畑, スギ 1 年生苗木供用)
Effect of yellow copper oxide (7%) at various dusting times in 1955 on 1-year-old Japanese cedar at Asakawa Nursery

番号 Plot No.	散布回数 No. of dusting times	供試植付本数 No. of the seedlings at the initial	調査時の本数 No. of the plants at the end	健全本数 No. of the healthy plants	赤枯病被害度別本数 Number of diseased seedlings					計 Total	赤枯病被害 程度指数 Index number of the disease
					微害 Slight	軽害 Light	中害 Middle	重害 Serious	最重害 Most serious		
1	9	1,512	1,435	590	789	51	5	0	0	845	0.6
2	8	〃	1,444	591	819	24	10	0	0	853	0.6
3	7	〃	1,421	470	890	59	2	0	0	951	0.7
4	無散布 Control	〃	1,412	52	981	366	13	0	0	1,360	1.3

供試薬剤 施用量：黄色亜酸化銅粉剤 4.5 kg/0.1 ha

試験方法 : ラテン方格法による (4 回繰返し)

面積 : 1 plot 当り 16 m² (4×4 m), 各 plot 間歩道 2 m, 総面積 484 m²

床替方法 : 列間 30 cm, 苗間 15 cm, 東西の条植

薬剤散布日 (Date of dusting)

番号 Plot No.	月 May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	計 Total
1	13	2 17	4 20	4 24	14	12	9
2	13	13 —	4 20	4 24	14	12	8
3	13	13 —	13 —	4 24	14	12	7

Table 7. 粉剤の散布回数別効力比較試験 (昭和31年度, 浅川苗畑, スギ2年生苗木供用)
Effect of yellow copper oxide (7%) at various dusting times in 1956 on 2-year-old Japanese cedar at Asakawa Nursery

番号 Plot No.	種類 Fungicide	散布回数 Dusting times	供試粉剤本数 Number of seedlings at the initial	調査時の本数 No. of the plants at the end	健全本数 No. of healthy plants	赤枯病被害度別本数 Number of diseased seedlings					赤枯病被害程度指数 Index number of the disease	
						微害 Slight	軽害 Light	中害 Middle	重害 Serious	最重害 Most Serious		合計 Total
1	(4.5 kg/0.1 ha) Yellow copper oxide	9	924	921	0	215	697	8	1	0	921	1.7
2	〃 do.	8	924	922	0	120	796	4	1	1	922	1.9
3	〃 do.	7	924	918	0	107	800	10	1	0	918	1.9
4	6斗式ボルドー液 Bordeaux mix. (1:1:30)	9	308	305	15	180	110	0	0	0	290	1.4
5	無散布 Control	0	924	916	0	8	636	257	12	3	916	2.3

使用粉剤 黄色亜酸化銅粉剤

薬剤散布日 (Date of dusting)

番号 Plot No.	月	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	合計 Total			
1		12	4	19	5	23	6	23	14	8	9
2		12	14	—	5	23	6	23	14	8	8
3		12	14	—	14	—	6	23	14	8	7
4		15	4	19	9	24	7	24	19	8	9

試験方法 ボルドー液区を除いた4区についてはラテン方格法によつた。

1 plot 16 m², plot 間歩道 2 m, 列間 30cm, 苗間 20 cm 調査 昭. 31. 10

Table 8. 粉剤の散布回数別効力比較試験 (昭和31年度, 元八王子苗畑, スギ1年生苗木供用)
Effect of yellow copper Oxide (7%) at various dusting times in 1956 on 1-year-old Japanese cedar at Motohachiōji Nursery

番号 Plot No.	種類 Fungicide	散布回数 Dusting times	供試粉剤本数 No. of the seedlings at the initial	調査時の本数 No. of the plants at the end	健全本数 No. of the healthy plants	赤枯病被害度別本数 No. of diseased seedlings					赤枯病被害程度指数 Index number of the disease	
						微害 Slight	軽害 Light	中害 Middle	重害 Serious	最重害 Most serious		合計 Total
1	(4.5 kg/0.1 ha) Yellow copper oxide	9	510	439	0	190	228	18	3	0	439	1.6
2	〃 do.	8	440	399	0	296	75	8	10	10	399	1.4
3	〃 do.	7	440	410	0	261	129	13	4	3	410	1.4
4	6斗式ボルドー液 Bordeaux mix. (1:1:3)	9	510	451	18	402	30	1	0	0	433	1.0
5	無散布 Control	0	561	545	0	1	23	210	196	115	545	3.7

供試粉剤 黄色亜酸化銅粉剤

薬剤散布日 (Date of dusting)

番号 Plot No.	月									
	May	June		July		Aug.		Sept.	Oct.	計 Total
1	11	1	16	2	20	2	20	14	6	9
2	11	11	—	2	20	2	20	14	10	8
3	11	11	—	11	—	2	20	14	10	7
4	11	11	16	2	20	2	20	18	6	9

備考 面積 番号 1, 4: $20 m^2$ ($2 \times 10 m$) 2, 3: $18 m^2$ ($2 \times 9 m$) 5: $40 m^2$ ($4 \times 10 m$)

床替方法 列間, 苗間ともに $20 cm$, 東西の条植, 各区間歩道 $1 m$

調査 昭. 31. 10

0.7, 無散布区は 1.3 を示した。この結果から 7~9 回までの散布回数別の試験では, 顕著な差が認められなかった。

また Table 7 でも, 散布回数 9 回区の被害指数 1.7, 8 回区および 7 回区ともに 1.9, 無散布区 2.3 で散布回数間では著しい差が認められないが, 傾向としては散布回数の多い方がいくらか良好のようである。

さらに Table 8 では, 最大回数の 9 回散布区において指数 1.6 で, 8 回および 7 回散布区はともに 1.4 で, ここでは不規則な結果を示したのである。もつともこのことは比較的発病が多く無散布区ではその指数 3.7 を示したほどである。

IV 摘 要

1. 本報は昭和 30~32 年度までの 3 カ年浅川および元八王子苗畑で実施した粉剤の施用量, および回数別効力比較試験の成績をとりまとめたものである。
2. 供試薬剤は, 黄色亜酸化銅粉剤とし, 施用量は $1,000 m^2$ 当り $6.0 \cdot 4.5 \cdot 3.0 \cdot 1.5 kg$ で, 施用回数は, 年間 $9 \cdot 8 \cdot 7$ 回についてスギ 1~2 回床替苗木を用い主にラテン方格法によつた。
3. 粉剤の施用量試験ではその量を増すごとに効果を示した。
4. 粉剤の散布回数別効力比較試験では顕著な結果は得られなかったが, 概して散布回数の多いほど有効のようである。

文 献

- 1) 野原勇太・陳野好之: スギの赤枯病防除に関する研究 (第 I 報), 林試研報, 52, (1952) p. 159~180.
- 2) ———・—————: スギの赤枯病防除に関する研究 (第 II 報), 林試研報, 62, (1953) p. 47~58
- 3) ———・—————: スギ赤枯病防除と粉剤の使用, 森林防疫 = ニュース, 29 (1954)
- 4) ———・—————: スギの赤枯病防除に関する研究 (第 III 報), 林試研報, 81, (1955) p. 31~42
- 5) 野原勇太・伊藤勝夫: スギの赤枯病防除に関する研究 (第 IV 報), 林試研報, 87, (1955) p. 59~65
- 6) ———・—————: スギの赤枯病防除に関する研究 (第 V 報), 林試研報, 87, (1956) p. 67~73

Researches on the Prevention of the Needle Blight of “Sugi”
(*Cryptomeria japonica* D. DON) (VI)
Dosages and numbers of dusting times of the fungicide

Yūta NOHARA and Yoshiyuki ZINNO

(Résumé)

1. The present report deals with the experiments carried out during 1955~1957 at various dosages and dusting times of a fungicide which contains yellow copper oxide at 7% to protect the seedlings from the disease at forest nursery.
2. Dosages were 6.0, 4.5, 3.0 and 1.5 *kg* per 1,000 *m*² and number of dustings were 9, 8, and 7 times a year.
3. Preventive effect was increased in proportion to the dosage, but close interrelation was not observed between the effect and the number of the dusting times.

付表 1. 気象観測成績 (昭和 30 年度 4~10 月浅川分室観測)

Attached list No. 1. Results of meteorological observations from April to October in 1955 at Asakawa Nursery

種 別	月	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.
气温 Average of out-door temp.		14.9	18.6	24.2	29.7	24.9	19.5	16.3
温度 Temperature in the screen	最高 Max.	27.3	27.8	32.0	32.2	33.4	29.5	28.5
	最低 Min.	-3.2	5.1	11.0	22.2	17.1	11.8	5.2
	平均 Aver.	12.4	16.7	21.8	26.0	24.8	20.7	16.8
湿度 Comparative air humidity (%)		63.3	71.4	79.1	27.1	84.5	83.6	82.0
日照時数 Total hours of the sunshine		145.6	146.8	118.6	224.2	148.7	99.9	97.1
降雨日数 Total of rained days		17	15	13	9	19	14	18
降雨量 Quantity of the rain		83.0	157.7	88.1	93.9	264.7	232.0	437.1

付表 2. 気象観測成績 (昭和 31 年度 4~10 月浅川分室観測)

Attached list No. 2. Results of meteorological observations from April to October in 1956 at Asakawa Nursery

種 別	月	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.
気 温 Average of out-door temp.		13.3	17.0	21.6	23.5	25.3	22.0	16.1
温 度 Temperature in the screen	最 高 Max.	26.2	33.5	31.4	32.2	33.6	31.3	25.6
	最 低 Min.	0.1	5.0	11.7	16.6	15.1	12.7	6.0
	平 均 Aver.	—	—	—	—	—	—	—
湿 度 Comparative air humidity (%)		65	77	72	84	76	82	84
日 照 時 数 Total hours of sunshine		156.7	134.0	116.3	93.1	142.4	107.9	70.1
降 雨 日 数 Total of rained days		13	21	18	17	16	18	17
降 雨 量 Quantity of the rain		146.5	324.2	182.8	140.3	136.8	309.1	370.4

付表 3. 気象観測成績 (昭和 32 年度 4~10 月浅川分室観測)

Attached list No. 3. Results of meteorological observations from April to October in 1957 at Asakawa Nursery

種 別	月	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.
気 温 Average of out door temp.		14.6	17.7	19.2	23.4	27.1	20.0	17.2
温 度 Temperature in the screen	最 高 Max.	26.9	25.6	28.6	34.0	34.2	31.2	24.7
	最 低 Min.	-3.2	—	10.2	16.5	18.4	9.4	2.2
	平 均 Aver.	—	—	—	—	—	—	—
湿 度 Comparative air humidity (%)		62	53	74.2	83.4	73.8	79.0	74.0
日 照 時 数 Total hours of the sunshine		143.8	194.2	990.5	68.0	178.8	69.3	137.6
降 雨 日 数 Total of rained days		11	16	19	20	19	22	19
降 雨 量 Quantity of the rain		109.9	225.2	375.5	142.9	70.0	383.9	133.5

附表 4. 气象観測成績 (昭和 31 年度 4~10 月瑞穂苗畑観測)
 Attached list No. 4. Results of meteorological observations from April to
 October in 1956 at Mizuho Nursery

種 別	月	April	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.
气温 Average of out-door temp.		15.6	18.7	23.2	25.6	26.2	24.5	18.4
温度 Temperature at the screen	最高 Max.	17.9	21.5	26.2	28.3	29.2	26.5	20.6
	最低 Min.	3.0	8.9	14.8	17.6	18.1	16.3	10.3
	平均 Aver.	10.5	15.2	20.5	23.0	23.7	21.4	15.5
湿度 Comparative air humidity (%)		55	57	63	66	59	68	61
降雨日数 Total of rained days		10	12	10	8	11	14	14
降雨量 Quantity of the rain		111.1	186.0	114.0	80.1	104.9	179.3	174.9

備考 10 時限界